

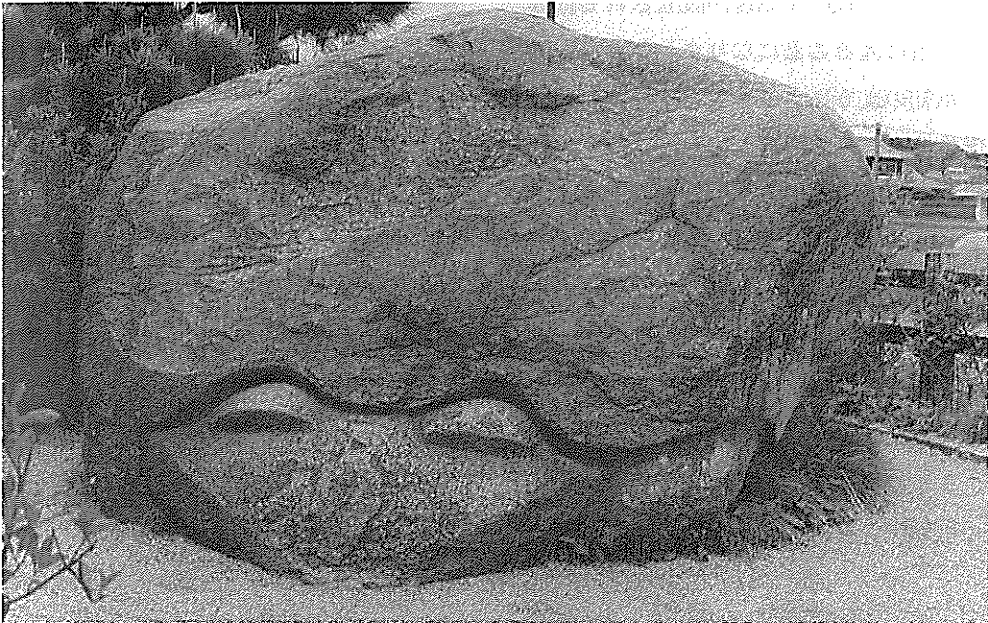
# なら生協連 ニュース

No.13  
94.1.20

奈良県生活協同組合連合会  
奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコープ飯付  
☎(0742)34-3535  
FAX(0742)34-0043

## MYSTERY IN ASUKA PART-5

飛鳥には謎にみちた石造物が多い。それらは何かを私たちに語りかけてくる。しかしその意味はわからない。まさにミステリーである。



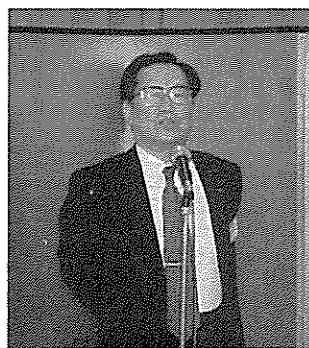
### <亀石>

橘寺の西門を出て西へ向かって行くと亀に似た巨大な石造物がある。今はフェンスに囲まれた中にあるが、以前は周囲は水田で、いかにも水を飲みきた亀という雰囲気があった。

側の案内板には、亀石は飛鳥京あるいは川原寺の所領の四方の境界をしめす標石ではないかという説もあると書かれている。しかし、いつの頃、何のために作ったのか全くわからない飛鳥の謎の一つである。

古代の飛鳥の人達が何かの目的・意図をもってこの亀石を刻んだのであろうが、今はひきもきらぬハイカー達の喧騒の中に何かを語りかけて来る亀石の声も聞きとれない。

# 連帯・協力の更なる 強化を



奈良県生協連合会会長 繁田 實造

奈良県生活協同組合連合会のみなさん、あけましておめでとうございます。

われわれの奈良県生協連が設立されて、今年で5年目に入ることになりました。県生協連はご承知のように、おやさと生協、奈良教育大学生協、奈良県労済生協、奈良市民生協と奈良女子大学生協の5生協によって構成されており、全国的にみれば、非常に規模の小さい県生協連組織ではないかと思えます。

しかし、過去の4年間を顧みますと、非常に多くのことをしてきた県生協連であるといえるのではないかと思えます。発足当初は、まず、5つの生協間の意思の疎通をはかり、相互の信頼関係を確立することにエネルギーを使いましたが、他方では県生協連の結成により、他の諸団体との意思の疎通が以前とは比較にならない程、スムーズにできるようになりましたことは、想像を絶するものがあり、大変な効果をもたらしたといえます。

ところで、去年は県生協連にとりましては、記念すべき年であったといえます。すなわち、1月27日には、奈良県農業協同組合中央会等のいわゆる奈良県農協四連合会、奈良県森林組合連合会とともに奈良県協同組合連絡協議会を、近畿圏で兵庫県に次いで結成し、

「第1回協同組合デーのつどい」や、「協同組合フェスティバル」をもつことができ、協同組合間の連帯・協力を強めることができました。

また、11月11～12日には「第5回近畿地区生協・行政合同会議」の当番県連としての大役を無事に果たし、多くの成果をあげることによって、会議に参加された府県生協連の方々にご満足いただき、やっと先輩の府県連に追いつくことができたことと喜んでおります。

その他にも生協大会や平和行進など、県生協連の従来からの活動も確実に前進させることができました。また、奈良市民生協が、これまでの活動に対して厚生大臣表彰を受けるというヒットもあり、不況下にもかかわらず、飛躍的な充実・発展を成し遂げたのが昨年ではなかったかと思えます。

『山椒は小粒でもぴりりと辛い』といわれますが、われわれの県生協連も、たとえ小規模であっても、その小規模を活用して、今年も、連帯・協力を更に強化し、より厳しくなることが予想される不況下にあって、昨年以上の成果をあげ、その『辛さ』を更に増すために努力することを誓って、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 11月11,12日 奈良で開催 第5回近畿地区生協・行政合同会議



(厚生省) 石岡指導官から報告

今年は奈良県生協連が当番県連となり、共済会館やまとで開催しました。

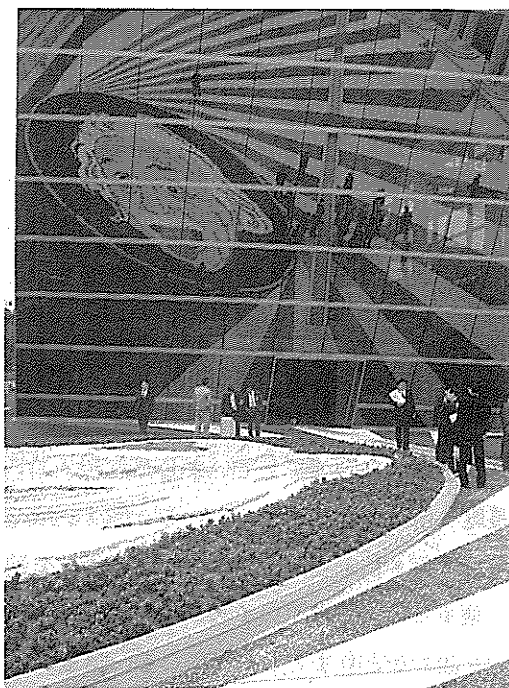
厚生省から2名、奈良県からは民生部長をはじめ4名の方が参加していただきました。

近畿6県の行政からは生協の窓口の方と各県の生協連合会の役員など合計43名の参加でした。

石岡厚生省指導官の基調報告は『規制緩和』に伴う、『取引に係る員外利用について』などが中心でした。日生協斎藤常務理事の報告は日生協の第6次中計とPL法などでした。その内容が新聞3社に掲載されました。

交流討議内容のおもな点は①生協と府県で強化月間中に円高差益還元フォーラムなど取組みを行っている県はないか②規制緩和に伴い酒類小売免許の申請の簡便化はないか③審議会などに生協の代表が出ている例の紹介などでした。

2日目は「けいはんなプラザ」「高山サイエンスプラザ」など県の職員の案内で視察しました。来年は和歌山で行われます。



高山サイエンスプラザにて

# 正に対して反があり合に至る

## — 瀧川専務との新春対談 —

新年にあたって学生さんと対談していただきました。

松岡 新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。

昨年もいろいろあったと思いますが、今年の抱負等を聞かせていただきたいのですが。

瀧川 県連ができて5年目になり、連合会としての仕事も定着してきました。5つの生協の親睦を図りながら、お互いに言いたいことは言えるようになりましたが、県連の事業としてはこれからですね。

協同組合間の連帯も大事な仕事になると思います。今、コメ問題が叫ばれていますが、凶作だけでは片付けられない問題があります。農協さんと生協がこれからの食糧問題をどう考えていくかと言う事を県連でも考えていく場所を設けてはどうかと思います。

長尾 瀧川専務の学生時代はどんな風でしたか。

瀧川 今の皆さんと相当に時代の違いを感じます。私は、外国語専攻でありながら、経済学中心の勉強をしていました。

長尾 何の外国語を専攻されていたのですか。

瀧川 英・仏・独が多い中で、同じ語学を勉強するのならと思えばスペイン語(スペイン語)をとりました。なにしろ、明るいイメージで、就職率も良かったものですから。



長尾 生活は、どんな風だったんですか。

瀧川 貧乏学生でした。自活でアルバイトをしていました。生協では、学生委員に食事のチケットが、貰えたので、ずいぶん助かりました。1年生の最初の頃は、寮がなかったんですが、新しい寮ができました。

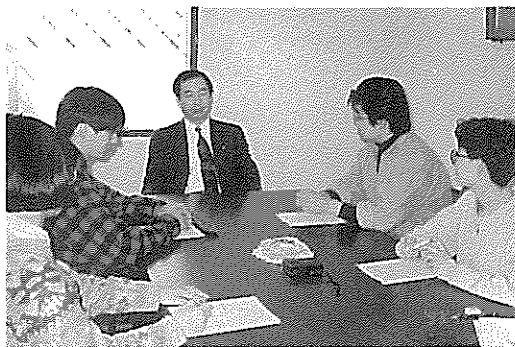
皆さんにはピンとこないでしょうが、その当時、月100円だった寮費が300円になるという、3倍値上げの問題など寮規定の導入阻止という運動をしていました。

長尾 女性関係なんかは、どうだったんですか。奥様はどこにおられたんですか。

瀧川 今と違い、昔は女子学生がそんなにいなかったんです。女子学生の多い教育大や女子大などの奈良には女子寮との交流によく来ました。結婚は大学を出て1年経ってからです。同じ大学の英語科にいたんです。

長尾 専務はいつの生まれですか。

瀧川 去年の12月24日で51才になりました。クリスマスイブの生まれです。



教育大生協の学生さん 右から

1年 宮本 早苗

3年 松岡 晶

2年 長尾 賢一

1年 添谷 史香

松岡 クリスマスイブの生まれだったら、損したなという感じですね。

瀧川 いや、得したなという感じですよ。

大体ね、皆さんと世代が違うのですよ。自分の誕生日にプレゼントを貰うなんていうのは無かったんですから。世界中で「キヨシ、この夜…」と祝って貰えて得した気分です。本当は私が生まれたのが、太平洋戦争が始まった次の年で、「潔い男になれ」という意味の名前だったんでしょうがねえ。

長尾 お子さんの名前は、何とつけられたのですか。

瀧川 男の子2人で、上が伸二、下が研二。二という数字は、非常に意味があり、表があれば裏もある。正に対して反があり合に至る、物事には二面があって発展をするという「弁証法」を意味するものとしてつけました。

宮本 専務さんは、とてもお若く見えるんですけども、若さを保つための趣味や特技をお持ちですか。

瀧川 私は、大学生協に卒業後6年もいたもので学生さんとは友達感覚でおつきあいして来ました。今の皆さんの大学生協の専務さんもそうでしょう。それと、私自身がよくよ考えない性格ですから。

長尾 専務はどうしてならコープに就職されたんですか。

瀧川 大学生協で活動する中で、生活協同組合で働こうと決め、将来は地域生協で頑張りたいと思っていました。大学生協連の時、初代のならコープ専務の稲川さんに誘われ設立運動に参加したと言うわけです。

松岡 学生時代から生協を続けてこられた原動力のようなものや、嬉しかったこととは何ですか。

瀧川 きっかけは、貧乏やったことですかね。食券につられて。貧富の差はなぜ生まれるのかなど真剣に考えましたね。寮費の問題にしても真剣に考えました。国とは社会とは何かと考え、消費者運動や社会運動に目覚めたわけです。その当時は生活協同組合がこんなに急速に大きな運動体になるとは考えられなかった。ならコープを含め生協が、短期間にこれまでに大きく飛躍したことが何よりも嬉しいことです。

松岡 僕らでも人と人とのつながりが広がっていくことは素晴らしいと思いますね。

瀧川 これからも、皆さんと一緒に頑張っていきたいですね。たくさんの仲間が出来て広がることは嬉しいことです。

松岡 今年一年もみんなで頑張っていきます。今日はありがとうございました。

# サークル紹介

## 環境サークル

ちきゅうくらぶ 宮田 佳代子

「ちきゅうくらぶ」。地球全体のことを考えながら、地域に根差した活動をしようと頭をひねり付けた名前です。現在の私達の活動を思うと、「ちきゅうの片隅くらぶ」が適当かも知れませんが。

昭和58年、生協の上牧運営委員会の学習会で「清涼飲料水」を取り上げ、一人が1年間で消費されたとされる缶を集めました。あちこちのゴミ箱から1つ2つといただいて191個の空缶を集めたのです。すご〜いゴミ！ゴミという言葉が頭の中に入り込んでしまいました。その後家計簿の付け方講習会を開き、無駄を無くす暮らし方に共感。次回は「ゴミとリサイクル」について学習する事になったのです。

以後「ゴミから生じる公害の加害者になっていませんか？」と問うゴミチェック表のアンケート活動を始めとし、ゴミを引きずって来たのですが、平成2年、自主サークル「ちきゅうくらぶ」として活動を引き継ぐことになりました。

まず、「ゴミの現実」を知ってもらおうと上牧町役場と打ち合わせをし、現場職員さんに班長会の各会場で話をさせていただきました。思いがけない話に聞き入ったり、メモを取

りの会場でした。アルミ缶の回収はコープ西大和店に空かん鳥が設置されるまで行い、代金は社会福祉協議会に役立てていただきました。現在は毎月1回牛乳パック、トレーの回収をしています。又、次号はいつになるかわからない“ちきゅうくらぶ通信”も8号になりました。

仲間が集まって活動する事は、次への活力源になるものです。生活環境の問題は、どんどん難しくなって来ていますが、ゴミ問題に限らず無いものねだり型から住民参加型へ。日常で出来ることを力まずに、多くの人に参加できる様に“ちきゅうくらぶ”が生かせるといいなと思っています。



毎月1回のトレー・牛乳パック回収

# 第10回沖縄戦跡・基地めぐりに参加して

奈良女子大生協 理事長 木村 陽子



『魂魄の塔』一戦争犠牲者に祈りを込めて

10月5日から8日まで第10回沖縄戦跡・基地めぐりが開催された。北は宮城県のみやぎ生協から南は熊本県学校生協まで90名弱が参加し、次のような日程であった。

10月5日は午後より沖縄戦記念フィルム1フィート運動の会による『沖縄戦 未来への証言』が上演され、そのあとは大野實久氏による『沖縄の文化と歴史』にかんする講演とコープおきなわ理事で元積得学徒隊の名城文子氏による体験談、午後6時以降は夕食・交流会であった。

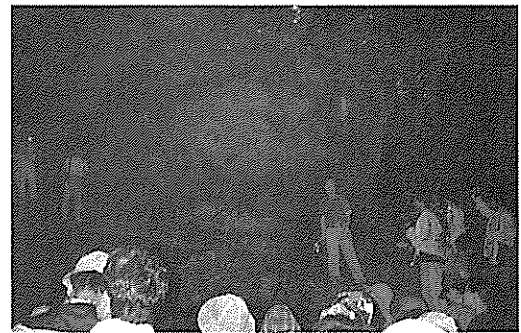
10月6日は、心配されていた天気もはれあがり、嘉手納基地などをめぐったあと、伊江島にわたりやすらぎの里・ヌチドウタカラの家で阿波根昌鴻の話をつかかった。基地返還をめぐる説得を主とする農民闘争は、世界的に有名であることをはじめて知った。

つづく2日間は雨であった。10月7日は、ひめゆりの塔や戦争の犠牲者の塚である魂魄の塔などを回った。忘れられないのは、糸数壕跡であった。傘を壕の口に置き、はぼ垂直におりて真っ暗な壕のなかを懐中電灯のあかりをたよりに私達はすすんでいった。はじめ

にいったのは壕の一番奥であった。この場所は破傷風にかかった人や菌が脳にきた人が注射で殺され、死体がころがされた場所であると聞いた。座って土をさわるとねっとりしており、近くにいた人が「人間の脂肪は40数年たっても消えないようです」と話した。壕のもうひとつの入口は乾いた場所が少ないところだが、そこは慰安婦や住民がいるところとされ、沖縄戦の時には多くの犠牲者が出たと聞いた。

10月8日は総括で各グループの代表が、考えや感想を述べた。

4日間の戦跡・基地めぐりで知った事実はあまりにも多く、また重く消化するには時間がかかるとというのが正直な感想である。なかには、1日中戦争の話ばかりで、心の受け入れ能力を越えそうな日もあった。それでも、戦跡・基地めぐりにひとりでも多くの人が参加して、沖縄戦とはなにだったかを考えることは長崎、広島等とならんで平和運動の原点になるに違いない。



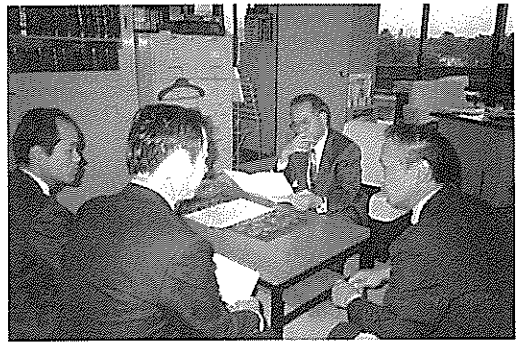
糸数壕で当時の状況を聞く

—いまでも真っ暗な

くらやみが過去を伝える—



# — 広がる協同・くらしの輪 —



10/14 94年度にむけて県の民生部長に  
要望書を提出し懇談する瀧川専務理事。



10/31 第2回くらしと環境フェアで  
テープカットをする柿本知事等



10/24 4万人が参加した協同組合  
フェスティバルでテープカットを  
行う役員、来賓



11/8 桜井市農協で行われた米の1日  
検査官に組合員は25名参加した。



12/11 ノーモア・ウォーのつどいで  
「きけわだつみのこえ」を朗読する  
教育大2年寶田誠さん



# クーパー倶楽部オーストラリア研修報告

奈良女子大学生協・専務理事 小林 利幸 その2

翌日お会いした丸紅オーストラリア会社の石井社長との会見は、進々堂の井尾社長のアポイントで実現することが出来たのですが、先週には京都府議会の超党派の視察団が来ておられたそうです。その名簿もお見せ頂きましたが、自民党や公明党そして共産党の方もお見受けすることができました。私たちが頂いた資料はその時と特に違わないそうですから、私たちも府議員並／と変なところで自負したくなりました。石井社長の説明をかい摘まんで紹介すると①経済は日本の1/10だが国土は日本の20倍②資源国で製造業はない③対日40億ドルの黒字に対し対米は40億ドルの赤字④日本からの観光客は60万人⑤実質生活は世界で1番安い。特に家と食料⑥失業が大きな問題となっているが、解決は対日輸出がどう伸びるかである。等々でしたが、特に失業の話聞いた時に、先の大臣の「日本人にどんどん来てほしい」という発言は単に外交辞令ではなく観光客誘致の積極発言ととるべきだったのだと思い直されました。その他、大学初任給が\$25000とか、オーストラリアには羊が1億6千万頭・牛が2300万頭もいるとか、商社として40億も投資してホルツ（牛の種類）を肥育しているが元が取れていないがようやく将来に期待が見えてきたとか興味深いお話を沢山して下さいました。

シドニーのカレッジストアーでは、OHPを使っての説明と同時に1セットの資料を用意し準備万端で迎えて頂きました。概要は、①組合員60万人で実際の利用は20万人程度。

（チャドウィック大臣もおそらくこのメンバ

ーと思う）②33大学の他、いくつかの学校や図書館・マガジンショップに店がある。③職員はフルタイムで210名、パートタイムで100名。④データベースは25万冊が基本で、絶えず改廃されている。ということですが、とりわけ学生・先生・そして大学経営者のニーズを大切にサービスを提供していると強調されていました。又、運営の仕組みは、役員が9名で1/3が3年毎に交代。そして選挙は新聞で広報するが回収は7000票程度。日本の生協の運営とは隔りを感じます。又、役員の報酬は年\$5000で社会的には、名誉職として位置づいているようです。ちなみに本の価格は定価の13%引き、クレジットなら10%引きとなっていました。カレッジストアーの取組みですばらしいと思ったのは貧しい人への寄付を目的とした「シールBOOK」というセールを実施していることでした。日本でも学ぶべき取組みだと思いました。

このシドニーでのガイドは日本人の西田さんという方でしたが、13年前にオーストラリアに来たときは\$1=340円ぐらいだったのが今や\$1=70円と急激な円高に驚いておられました。又、国情の違いとしては公営住宅に入るのに所得が違ってもみな同じ様なところに入居できるが、所得に応じて家賃が高くなるので働かない方が得ということで、問題化しているそうです。失業保険についても、週\$100もらえるので、食費が安いので働かずに遊んで過ごす人がおり社会問題化しつつあるようです。

## 奈良女子大学生協

### <その1>

京都・滋賀・奈良の大学生協で毎年実施しているレインボーシュプールを今年は北海道で計画。11月25日より受付開始と同時に奈良女子大学の定員枠をオーバー、キャンセル待ちが17名とすごい人気です。やはり組合員自信が事務局を担当し、自分たちの取り組みとして回りの組合員に自信を持って薦めている結果だろうと思います。ちなみに実施は来年の2月21日～26日で、事務局では現地でのイベントの準備に余念がありません。もちろん奈良女子大生も事務局で頑張っています。

### <その2>

新学期の新入生歓迎の準備がいよいよスタートです。11月12日～13日には新入生歓迎の準備合宿を学生委員と文レク委員などの各委員会メンバーと合同で開催。「昨年受験をしたときに不安だったことを来年の受験生にはちゃんと教えてあげよう」とか、「合格したときにもらったパンフレットを来年の新入生に向けてもう一度見直して、わかりやすいパンフレットにしよう」と、現1回生を中心に組みんでいくことを決めました。早速4月までのスケジュールをカレンダーにして、12月から新歓の開始です。

### <その3>

理事会では、お米の値上げに生協としてどう対応するのかを決めなくてははいけません。このまま1年間値上げをしないと約80万円の支出増となり、年間の利益計画が130万円の

当生協にとっては大きな影響があります。しかし組合員の生活も決して楽ではありませんので大変苦慮するところでもあります。当面12月末までは値上げをしない予定です。12月の理事会では、一定の結論をだしていきたいと考えています。(小林専務理事)

## 奈良県労働者共済生活協同組合

10月1日から12月29日までを、終身共済・自動車共済のキャンペーン期間とし、特に活動としては、組合員1人1人の、新規組合員の紹介活動や、県下居住者の方への新聞折込みや宅配による全労済の宣伝につとめました。

また、全労済では、長寿社会に備え、高齢者や障害をもつ方々がイキイキと安心して暮らせることを願って在宅福祉サービスを進めており、その一環としての「介護ヘルパー養成講座」の第2回目の応募を行ったところ400名以上の申込みをいただき、関心の大きさを改めて思い知るところです。

なお、この介護ヘルパー養成講座は、講座開催県の知事指定を取得し、厚生省のホームヘルパー養成研修の3級に準じた内容のカリキュラムになっています。今年度は、京都・大阪・兵庫で開催しますが、奈良においても次年度以降の予定で準備を進めています。

(辻井事業推進一課長)

## ならコープ

＜環境分野では＞10月2日に第20回牛乳パック回収があり、8tが集まりました。10月31日には、県の「くらしと環境フェア」に出展。11月4日～12月1日にかけては、ミニステーション懇談会を20会場 172名の参加でこなし、回収についての意見交換をしました。11月30日には、桜井市で210名の参加のもと環境講演会「松田美夜子氏」を開催。また、12月4日に第21回牛乳パック回収を実施し11集めました。

＜平和分野では＞10月30日に被爆者交流会とアニメ「はだしのゲン」の上映会をやり、107名の参加がありました。また、11月23日の原爆被害者相談員の会との交流会には34名の参加があり、相談員の塚本さんより報告がありました。

12月11日のノーモア・ウォーのつどいも、品川文男さんの体験談をはじめ詩の朗読・アニメ等があり90名の参加がありました。

＜福祉・たすけあいの分野では＞10月4日に北海道南西沖地震被災者救援募金の贈呈に参加。11月12日にはユニセフ募金10年目企画として「オスマン・サンコン氏」の講演会とパネル展示をして320名の参加を得ました。24日には福祉サークル・グループ交流会を開催。

＜生活・文化のところでは＞10月5日～11月29日県下5会場でお母さんセミナー。10月19日テニス大会。10月25日ミレルデ例会「十二夜」。10月29日児童文学講演会「赤木かん

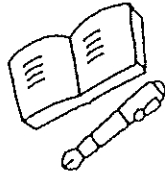
こ氏」。史跡めぐり・歩く会・ウォークラリー・自然観察会等がありました。また、「こどもと食事」の冊子が研究チームの手で完成しました。(1冊 300円)

その他にも、10月24日の第6回協同組合フェスティバルに4万人参加 205店出店。(フェスティバルのキャンパで11月25日には県の社会福祉協議会へ車椅子を12台贈呈) 11月16～18日消費者大会に13名参加し、PL法・消費税・コメ問題等について討議されました。くらしの講座も「化粧品被害」「研究所見学」「裁判傍聴」「車いすとすまいの見学」等の講座がもたれました。

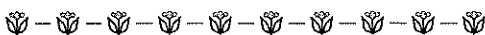
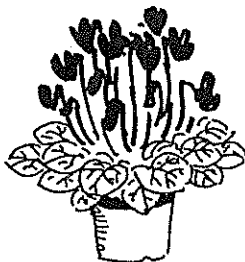
1月～3月にかけては、環境交流会・2月集会(日生協)・班長会等が予定されています。(組合員活動部 山本)



牛乳パックで作ったしおりを  
フェスティバルで売りキャンパした。



- 10/31 奈良県「第2回くらしと環境フェア」  
11/8 JA中央会「お米学習体験セミナー」  
11/10 関西消費者団体連絡懇談会会議  
(事務局長)  
11/11~12 第5回近畿地区生協・行政合同  
会議  
11/30 ならコープ「松田美夜子氏講演会」  
(事務局長)  
12/3 関西地連「第2回府県連協議会」  
12/5 レイチェル・カーソン日本協会理事会  
(事務局長)  
12/9 日生協「第2回県代表幹事会議」  
(会長)  
12/11 第3回「ノーモア・ウォーのつどい」  
12/14 関西消費者団体連絡懇談会会議  
(事務局長)  
12/15 関消懇「食品日付表示説明会」  
(事務局長)  
12/16 第3回理事会・合同会議反省会  
12/21「環境基本条例を制定するにあたって  
の要望書」を県保健環境部へ提出  
(事務局長)  
12/22 関消懇「タイ米輸入見学会」  
(事務局長)



## レイチェル・カーソン没後30年の集い 自然・農業を考える学習会

日時 4月15日(金) 13:00~16:00  
会場 桜井まほろば会館  
(近鉄桜井、JR桜井の北口)  
内容 アメリカのレイチェル・カーソン協会のダイアナ・ポスト事務局長が来日されます。日本協会の鈴木善次大阪教育大学教授などたくさんの先生の協力によりパネル・ディスカッションを予定しています。

規模 200名

申し込み

奈良県生協連へ電話で申し込んで下さい。 0742-34-3535

## 環境基本条例を考える学習会

日時 2月1日(火) 10:00~12:00  
会場 ならコープ本部3F会議室  
内容 国会で環境基本法が成立しました。今後、県・市長村に条例をつくるために学習しましょう。

講師は奈良県環境管理課の職員の方を予定しています。

規模 50名

申し込みは

奈良県生協連に電話で申し込んで下さい。 0742-34-3535